

国語科（2 学年）

週時間数 4 時間

1 学習の手引き

使用教材	・「伝え合う言葉 2 年」（教育出版）	持ち物	・ノート、新・基礎の学習、単元別漢字 ・図解でわかる文法、国語辞典、中学書写 ※その他、必要に応じてタブレット
学習の進め方	学 校	・話をよく聞き、学習課題をきちんととらえ、必要なことは必ずノートに記入しましょう。 ・わからない言葉は辞書をひいて確認し、語彙を増やしましょう。 ・課題に対する自分の意見を持ち、様々な形で発信したり、仲間の意見を聞いたりして自分の考えを深めましょう。	
	家 庭	・教科書やノートを見て、学校で習ったことの復習を行いましょう。 ・ワーク類を用いて学習内容が身についているか確かめましょう。 ・漢字の小テストのための練習をしましょう。 ・本に親しみ、読書量を増やしましょう。	

2 学習の内容

学期	月	題材（学習する時間）	学習内容	備考
一学期	4月	・「虹の足」 ・「タオル」	・詩に込められた作者の感動を読み取る。 ・表現上の工夫に注意して、作者の思いを捉える。	前期中間テスト
	5月	・「水の山 富士山」	・論理の展開を捉え、内容の理解を深める。	
	6月	・「短歌の味わい」	・言葉から情景を想像し短歌を読み味わい、リズムや技法について知る。	
	7月	・「夢を跳ぶ」 ・「日本の花火の楽しみ」	・論理的な文章の展開とその効果について理解する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方の特徴について、自分の意見をまとめる。 ・意見と根拠を適切に示し、推論の筋道がわかりやすい構成を考える。	
		＜夏休み＞ ・読書感想文を書く。		
二学期	9月	・ビブリオバトル ・「夏の葬列」 ・「敦盛の最後―平家物語―」	・自分が選んだ本の良さや面白さを効果的に伝える。 ・表現上の工夫に注意して、作者の思いを捉える。 ・「平家物語」「枕草子」の各場面の情景やそこに示されている心情を想像する。	前期期末テスト 後期中間テスト
	10月	・「随筆の味わい―枕草子・徒然草―」 ・「二千五百年前からのメッセージ」	・漢詩の形式を知り、言葉の響きやリズムに注意して暗唱する。	
	11月	・「紙の建築」	・様々な考え方、物事の捉え方に触れることで視野を広げ自らの考えを深める。	
	12月	・書写	・自分の目標を、毛筆で表現する。	
		＜冬休み＞		
後期	1月	・「学ぶ力」	・正解のない問いに向き合いながら、自らの考えを深める。	後期期末テスト
	2月	・「走れメロス」 ・「豚」	・作品の主題に迫る読み方を学び、同じ作者の作品や同じ主題の作品へと読書の幅を広げる。	
	3月			
年間		「文法」「語句」	・漢字や文法、語句の使い方を知る。	

3 評価の観点と内容・方法

観 点	内 容	方 法
知識・技能	・語句、文法、漢字など国語に関する基礎的な事項や国語の特質について理解し、知識を身につけている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	小テスト・定期テスト 提出作品の内容確認 ノートの内容の確認
思考・判断・表現	・自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて話の構成を工夫している。 ・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・目的や意図に応じて、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にして文章を書いている。 ・表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。また、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。	定期テスト 提出作品の内容確認 発表の内容確認 ノートの内容確認
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く課題に取り組み、自らの学習を調整しながら考えたことをまとめたり、書いたり、伝え合おうとしている。	振り返り用紙の内容確認 ノートの内容確認 発表の内容確認 プリントやワークなどへの取り組み